

(こども版) としょかんだより No. 233

わくわく本だな

2003年

7月号

富山市立図書館 富山市丸の内1-4-50

076-432-7272

くらはし ようこ
倉橋燿子さんの本

倉橋さんはまんがの原作者としてもかつやくしています。なやみや苦しみをのりこえて成長する主人公のすがたは、きっとあなたの心をとらえてはなさないでしょう。

「カミングホーム わたしのおうち」 講談社

はなむらけ
花村家は、5人家族。
医者であるお父さんと4人の子どもたちは、だれも血がつながっていません。
だけど、みんな「おうちが大すき」。



「くよくよしないで、笑っちゃえ！」

ポプラ社

*作者の^{たいけん}体験が書かれています。

「青い天使」 全9巻 講談社

青い目に茶色い髪^{かみ}。日本人のママと、フランス人のパパを持つチナに、次々とおそいかかる試練^{しれん}の日々。友だちや恋をつうじて、チナは大きく成長していきます。

「いちご」 全5巻 講談社

いちごは、アトピーになやんでいる女の子。東京から信州の山の中に引っ越してきました。ここだったらアトピーもよくなりそう……。

「ぼくたちの出発」 ポプラ社

てんこうせい しゅやくざ
転校生に主役の座をうばわれ、大すきなサッカーをやめてしまったエビ。けれど、いやなことからはげいて自分に気づいて立ち直っていきます。



「ドリームファーム物語・ペガサスの翼」上・中・下 講談社

学校に行けなくなった少女・理央^{りお}と、傷ついた白馬^{きず}ペガサスの物語。

あたらしくはいった本

= 1・2年
= 3・4年
= 5・6年

えほん

「たこやはちべえりゅうぐうたび」 さねとう あきら / 文 教育画劇
はちべえは、おとしたさいふをさがすためガラスのつぼにはいって海へもぐりました。
ついたところは、りゅうぐうじょう。うらしまたろうになりすましたはちべえですが
にせものとわかってさあ大変！

「かめのヘンリー」 ゆもと かずみ / 作 福音館書店
ちよみちゃんとぬいぐるみのかめヘンリーは、とても仲良しです。
ちよみちゃんが病気でねこんだとき、ママは、きたなくなったヘンリーを、
物置べやにかくしてしまいました。
ヘンリーは、ちよみちゃんに会いたくて、あることを思いつきました。



ものがたり



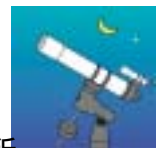
「ごきげんこだぬきくん」
渡辺 有一 / 作 あかね書房
こだぬきくんは、元気がありすぎて、
ちょっとあわてんぼうな子です。
ある日学校へパジャマを着たまま出かけて
いってしまいました。
ママは、こんなこだぬきくんが、
しんぱいでたまりません。

「うさぎのおいしい食べ方」
きむら ゆういち / 作 講談社
おおかみのゴンノスケは、大好物の
うさぎをみつけました。
さあ、食べようと思ったとき、うさぎが
「わたしを食べるマナーがわかってる？」と
いいました。いったいどうやって食べたら
いいんだろう。

「サキの星」 山口 理 / 作 ひくまの出版
サキの大好きなおじいちゃんが、天体望遠鏡で新しい星を発見しました。
すぐに天文台へ連絡してみましたが、確認の電話がなかなかかかってきません……。

「オスティア物語」

キャロライン・ローレンス / 作 PHP 研究所
ジョナサンのかっている犬が殺されるという事件がおこりました。
となりにすむ謎ときの名人フラビアは、犯人をさがしはじめます。
古代ローマの都市オスティアを舞台にした謎ときアドベンチャー



「ぼくらは月夜に鬼と舞う」

藤沢 呼宇 / 作 岩崎書店

6年生の完は、中学受験にそなえて、勉強ばかりの毎日です。
ところが、行方不明になった親友モッチをさがすうちに、
鬼が住む不思議な場所にまよいこんでしまいました。

ちしきの本



「がんばれ！しろくまピース」

大西 伝一郎 / 文 文溪堂

とべ動物園で、しろくまの赤ちゃんが生まれました。でも、母ぐまがうまく育てることができないので、飼育員の高市さんは、自分で育てる決心をします。夜は、毎日自分の家につれて帰り、家族といっしょの生活がはじまりました。

みんなのひろば

おともだちがしょうかいする本コーナー

雪のにおい 高林 潤子 / 作

わたしは、この本が大すきになりました。
大じいちゃんが死んだのは、ちょっと
かなしかったけど、とてもたのしい
お話でした。

よかた 四方小学校 2年 さか口 ゆう

おさるのまいにち

いとう ひろし / 作
おさるのゆかいな
まいにちです。
シリーズも
いっぱいあるよ。



おおひろた 大広田小学校 3年

森 みゆう

へんてこもりに いこうよ たかどの ほうこ / 作

まるぼ

うるりんぞ



森に入ると
おもしろくて
たのしいのが
はじまるよ

にながわ 蜷川小学校 3年

ごんもり ゆうき

なぞのたから島 [かいぞくポケット 1]

寺村 輝夫 / 作

白ねこアイコのじゅもんで
かいぞくのおかしらになったポケットは
三人の手下をつれてたから島へ
出発した。

蜷川小学校 3年 水野 ゆうか

こもれび村のあんぺい先生

茂市 久美子 / 作

とても心がおだやかになって、自然に
わらってしまう、やさしくてわくわくする本！
安平先生は、みんなに人気のお医者さんです。
こもれび村の「森の診療所」に行きませんか。



とよた 豊田小学校 6年
松岡 麻里子

バッテリー

あさの あつこ / 作

野球が好きな巧は、大人っぽいのに
考えがたりない中学生。弟の青波に
助けられながら、いろんな難関に
立ち向かう巧とチームのなかまたち。
野球のルールを知らなくても
楽しめる本です。

豊田小学校 6年 角地 里香

しいたい しらべたい

アサガオのつるが、のびてきました。
右と左のどっちにまきながらのびるのですか？



次の本などにでています。

「植物 101」 学研

「うずまき 右まき 左まき」 永田英治 / 作 大日本図書

「アサガオのつるは 右まき？ 左まき？」 七尾 純 / 作 アリス館



あたらしくほいった本

「がんばる！たまごにいちゃん」(絵本)

あきやま ただし / 作 鈴木出版

りっぱなおにいちゃんになったけど、またたまごにもどりたくなったよ。



「ふうたのかぜまつり」

あまん きみこ / 作 あかね書房

ふうたは、イチヨウの木の下で、かぎをさがしにきた女の子とであいます。

「つるばら村のくるみさん」

茂市 久美子 / 作 講談社

くるみさんがパン屋さんをひらいてから三年、近ごろパンがあまりうれません。



「みかくにんひこうぶったい」

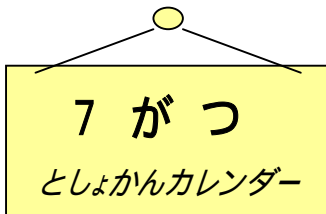
大原 興三郎 / 作 PHP研究所

あやしいUFOはっけん！

「グローリア」

石神 悦子 / 作 学研

バスケットがうまくなならない豊が、なぞの^{うらな}占^しい師と出会い・・・



日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3 おやすみ	4	5
6	7 おやすみ	8	9	10	11	12
13	14 おやすみ	15	16	17	18	19
20	21 おやすみ	22	23	24	25	26
27	28 おやすみ	29	30	31		